

## 輸血を受けた方々の声

このページでは、病気やケガのために輸血を受けた患者さんや、そのご家族の方の声を紹介します。



私は現在、骨髄腫で血液ができません。今になって献血・輸血のありがたさが分かります。

発病以来15年経ちますが、輸血を受けた事で現在に至るまで命をつないで居ります。心から感謝の毎日を送っています。若い方の献血が私たちを助けていますのでどうかこれからも1人でも多くの方の献血をお願いいたします。

誰かも分からない方のありがたい献血のおかげで、娘の容体が少しでも良くなっているので、機会があれば他の子ども達や家族に献血の必要性などを話して、血液が必要な方への提供を呼びかけるようにしていきたい。

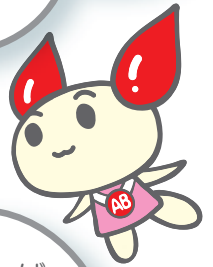
私の受けている治療には、輸血が不可欠なもので、今こうして私が元気に生きていられるのは、輸血があったからこそだと思っています。私は血液関係の病気であるため、将来献血という形で恩返しはできないだろうけど、何か別の方法を見つけ出し、病気と闘う人のために役に立ちたいと思っています。



点滴台に下げられている輸血の袋に両手を合わせてお礼を言いました。  
たくさんの人たちが献血をしてくださったおかげで、私は今日も生き延びられる。少しでも元気になる。たくさんの人たちのパワーをもらって希望が持てるようになりました。本当に本当に、みなさまありがとうございました。



献血と言えば、手術とか事故しか思い浮かばなかったが、自分が血液の病気になり、本当に献血の必要性を強く感じた。同時にとても感謝しています。



まさか自分が輸血を受けなければいけない病気にかかるとは、夢にも思っていませんでした。  
いつも心の中で(どこのどなたなのか分からないけれど)感謝しています。  
数日前、病室のテレビで、献血をする人の数が減り、高校生や大学生が街頭でキャンペーンを行っている様子を見ました。それと献血ルームで献血を行っている人の映像も目にすることができ、感謝しました。  
これからもぜひ、運動を続けていってほしいものと思います。

現在入院して治療中です。  
血液の病気で小児です。  
長期にわたり大変多くの輸血を受けました。  
一回一回ごとに  
多くの方々の献血・善意に本当に感謝しています。

